917:00~OS23:30 俄不定

できる環境。接客の質を高めていフがお客さんと向き合って仕事が

きたいと思っています」。

金子され

んの店では若手が入社し

, 4年で、

店を回せるまでに

店は調理もサービスも、全スタッ 軟さを忘れない。「特に六本松のけれどまだまだ変われるという柔

さん。飲食業で働いて20年以上、出すこともあるんですよ」と金子の気づきもある。良い意見が飛び

りますが、何も知らない

からこそ

している。

「経験者は即戦力にな

刺激多き環境で10年仲間に恵まれ

む道を照らしてくれんと仲間たちこそ、

くれた存在だ。

金子

兵衛」の八島且典さんから「店、えた際に、縁あって「焼とりの八る金子敏之さん。20歳で転職を考 タッフは「やきとり 弥七」「やきある。当時一緒に働いていたス を世界にまで広めたレジェンドでさんといえば、博多焼き鳥の存在 手伝ってよ」と声がかかる。八島 「気付けば飲食業にい 語 刺さり

今後の展望などを語っていただきます。飲食の仕事の魅力、 取材・文/生野朋子 撮影/竹内さくら、

中西ゆき乃

ドする方々に、

つけた、 で」。 てもらったり、 立場になったり、逆に新店が繁盛スタッフが抜けて、その店を守る スタッフが抜けて、 きていました。立ち上げで主力のなど、毎年新しいアクションが起 大きな糧。「新店開店や するまでの流れを現場で体感させ 刺激の多い環境だったことも ションを高めて 右も左も分からぬ世界で見 自分の一生の仕事。 貴重な経験ばかり 東京進出 た八島さ

めちゃくちゃ楽しい日々でした」「未経験で入って大変だったけど、現在は人気を博す名店の店主たち。

振り返る。

5年経つ頃には自

り 六三四」「やきとり 稲田」と、

目となる10年まで、八島さんのもにも独立への気持ちが芽生え、節 とでさまざまなことを学んできた。 「人の3倍は気を遣えとよく言わ らしたね」。 大将の言葉は胸に突き

> 格好良く働ける場を経験を問わず、 30歳になった20

を開業。未経験者も積極的に採用ンターメインの『焼鳥ことりこ』 焼きとりこ』を大手門に、 良いポジションを与えてあげた めて、 2024年2月には六本松にカウ いとの思いから、2017年『炭 は「ひとりでは何もできない。 はしごをせずに1軒でも メニュー構成に。そこで感じたの もらえるように締めも充実させた スタッフが育ち、 のとりこ』を港にオープン 人間力なんだな」と 若い子にも 満足して さらに

造園業からの転職歴史ある喫茶店へ

れるファンも多い。 淹れる。その所作の美しさに惹か ţ 熱された湯の気圧の変化によっての実験具のような器具を使い、加 姿勢正しく心を込めてコー イルに辿り着いた。白衣にネクタは、一流のバーを参考に今のスタ1966年創業の『珈琲舎のだ』 抽出されるサイフォンコーヒー。 創業者である野田光彦さんが会 フラスコとロ-いう装いでカウンター まるで理科 ·ヒーを で立ち、

れたのが赤星敬一さんだ。野田さ長となり、後継者として店を託さ

Catch the dream!

が、 なったな に断っていたが、「君がやらない屋を継がないか?」と誘われる度 とって、喫茶店は遠い存在だったを飲む習慣がなかった赤星さんに 「どんなお店か、知っておこうかなら店を畳む」と言われたことで 赤星さん。野田さんから「コー と働くスタッフの姿に心が動く。 な」と初めて店を巡った。コーヒー 「この場所がなくなるのは、 趣ある雰囲気の中、 いな」。 入社を決意 -年悩み、 心た。30歳に きびきび L

異業種から飛び込 情熱をかけて挑む んで 株式会社 珈琲舎のだ 代表取締役 社長 PROFILE 1978年北九州市出身。 造園業に携わっていたが、 義 父が創業した『珈琲舎のだ』に2008年入社し、2021)『カフェ レジャン 珈琲舎のだ店』博多阪急店を 経営。ケーキの製造や通販部にも力を入れる。 加琲舎のだ シャンボール大名本店)福岡市中央区大名2-10-1 シャンボール大名1F

するつもりだったのですが…」と督をしていました。いずれは独立造園業に携わっていた。「現場監んの娘婿であり、結婚した当時は 2-741-5357 ⑤10:00~19:00 例水曜

形にするチャンスが来た。術を生かせる場を」。その シエはすごい職業。 のための努力を重ねた。 を開くなど、 パティシエの世界へ。 日々から、繊細な作業を要す 配属されたの んで3年現場で学び、 店全体 - についても研鑽を もっとこの技 来た。博多阪。その思いを に乗っていた ツが充実した た。「パティーの技術向上 なんとかな 寝る間を惜 んとケ 勉強会 純喫

したいことができる面白い世界「でも情熱次第で、自分の表現奥深さは計り知れないものだった。 や若いスタッフも増えてきて、客は、造園業と通じるところ。女性のスタッフが職人気質であるの だ見ぬ新し 統率力とハングリーな精神。業者が見初めたのはきっと、 もって感じた上で、赤星さんは次さまざまな世代に響くことを身を してオープンし、そこに勤務しな2011年『カフェ レジャン』と シカルな魅力をまといながら、 展開をしていきたいですね」。 なる夢を掲げる。「庭園のあるコ じているという。 層が変化してきたことに喜びを感 だなと実感しています」。 重ねる日々。16年前、 がら、コーヒ・ カフェスタイルで挑戦することに 茶ではなく、 急に出店することになり、 コーヒーを軸に+アルファ 店ごとの個性が - の美味し な精神。クラ まわり · ン を 生

私たちは夢と希望に満ちた福岡



力をしかと受け継ぎ、

ゼロからの

)。自身が歩んできた道を トでも長く輝ける職場作り

激戦区の福岡で博多の焼き鳥の魅

働ける場でもありたい」

とニコリ。

も、40代が責任を持って格好良く急成長することも多いという。「で

「福岡の美味しい」を極める!





の飲食業界を応援しています。







個性を束ねて奥深い世界の中で

75